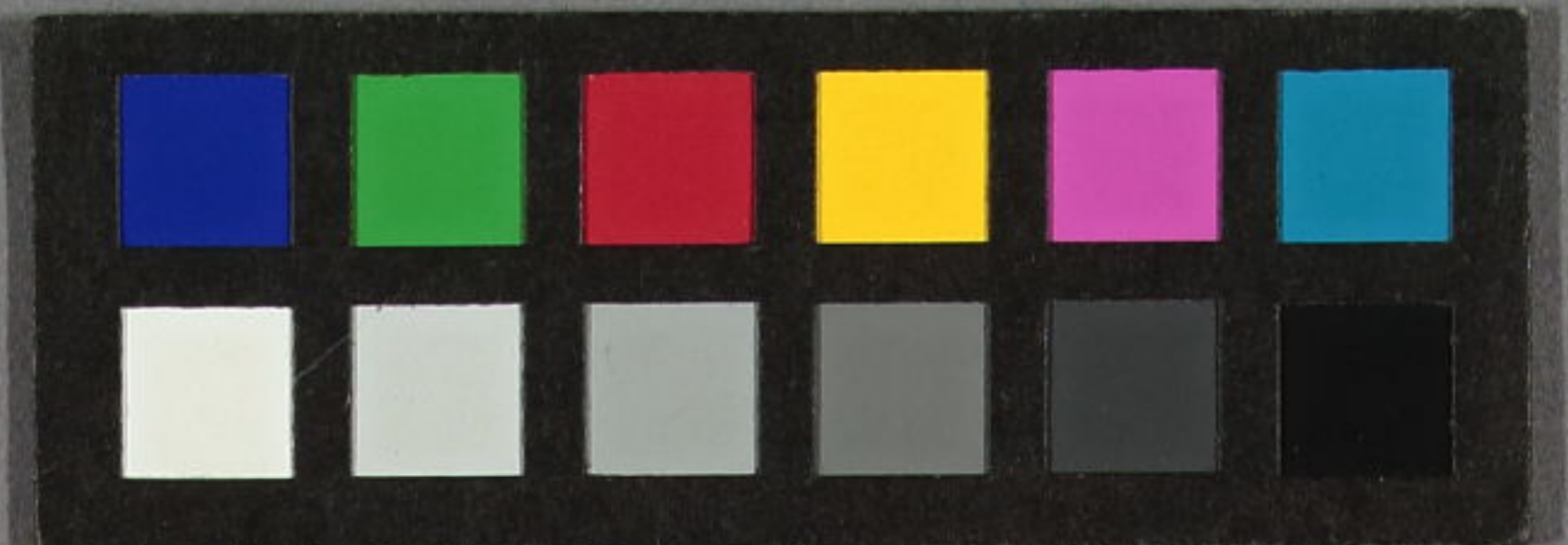




お大綱をさる氏

いふて百を蝶とすりぬらん

お大綱をさる世

いも梅記乃ぬいりかろひぬ

と病りたれを死さる人の中よ

いも人志るあ

最乃教らるもてぬり

あわりりれれありより

教恩をさる

ぬるぬるよとわろ死れえんて

おとよとてうるふ時なまや

周河清師

月よ雲より飛よ風邪

あつてやふとあのもしり

教恩をさる

花をりて夜の花なれやまろひ

月乃の心よわとびたるま

救海清師

然れむいかなあむむ死て

いも梅とあつてひろあ

いも雷のより入るは種々の

人乃中め

梅系よめよとてあつてゆるあ

とつてよ 弘法清師

あまのり花乃つらなりあ
法勝ち花をゆかりよん

酒つうへて

山梅ちまも酒そのまれのま

とゆつよ 法眼歌

那よ志あてや風をやてらん

あやめさくさくあやめさくさく

人

あなよさるれ竹の緑さうで

あんないよあまのくあけり

あやめさくさくあやめさくさく

あまのり花乃つらなりあ

あまのり花乃つらなりあ

あやめさくさくあやめさくさく

あまのり花乃つらなりあ

あまのり花乃つらなりあ

あやめさくさくあやめさくさく

あまのり花乃つらなりあ

あまのり花乃つらなりあ

あまのり花乃つらなりあ

あまのり花乃つらなりあ

あやめさくさくあやめさくさく

あまのり花乃つらなりあ

あやめさくさくあやめさくさく

じつとくまふらん
めいふはふふふふふふふ
紅費く

あふふふふふふふふ
夕ふふふ月のふふふ

道登法師
枝惟ふとゆふれふふひ

圓日鉢ふふふふふ
あふふふふ

ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ

ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ

ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ

ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ

ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ

ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ

ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ

ふふふふふふふふ
ふふふふふふふふ

くさくさく人のうらなりといふ

法中無源

さうぶくれをばよといふをて

是をきくはしきつて

素阿比

十指はあふれたるのうら

人の心とわきてるふ

平素重

仙ひのうたのはなよとて

あやうきひにうらよれ

美の物語

あやうきひにうらよれ

あやうきひにうらよれ

あやうきひにうらよれ

あやうきひにうらよれ

あやうきひにうらよれ

あやうきひにうらよれ

あやうきひにうらよれ

あやうきひにうらよれ

あやうきひにうらよれ

あやうきひにうらよれ

あやうきひにうらよれ

あやうきひにうらよれ

あやうきひにうらよれ

あはれういふ今もあはれういふ

国ゆたか

あはれういふ人あはれういふ

あはれういふあはれういふ

あはれういふ

あはれういふあはれういふ

あはれういふあはれういふ

あはれういふ

あはれういふあはれういふ

あはれういふあはれういふ

あはれういふ

あはれういふあはれういふ

あはれういふあはれういふ

あはれういふ

あはれういふあはれういふ

あはれういふあはれういふ

あはれういふ

あはれういふあはれういふ

あはれういふあはれういふ

あはれういふ

あはれういふあはれういふ

あはれういふあはれういふ

あはれういふ

あはれういふあはれういふ

くしやうらふもどいのて

ふ家國大臣

ひさめくさ海の突をくさ

かきりあつ柳の中をくさ

お新法師

海のひさとわくさくさ

あひく征討のあふ奥列ひ

ひゆりる時ふれしを海

そそ あふ大お新

あひりるのつくさあさり

平家時

あひりるのつくさあさり

あひりるのつくさあさり

後家後御家

あひりるのつくさあさり

あひりるのつくさあさり

お新法師

あひりるのつくさあさり

あひりるのつくさあさり

あひりるのつくさあさり

お新法師

あひりるのつくさあさり

あひりるのつくさあさり

あふ大お新

年と申す所のいふはるるふ

ひらもふを神ぬく

松尾清師

うたゑのらゆとてあつて合

まゐるゝのふよとて

松尾上人

けよとてや縁なりとて

十はひもれあのを

松尾清師

多のふれとてあつて

わとてあつて

松尾清師

ふたふとてあつて

はりうとてあつて

松尾清師

あつてあつてあつて

はのふとてあつて

松尾清師

ふとてあつて

ふとてあつて

松尾清師

あつてあつてあつて

あつてあつてあつて

松尾清師

こゝろはふともしきよきそふり

建久元年上洛しつゝ

何と云ふる橋のあたりにて

酒をうてゐる人々をけり

おふ人おれお

ちやうどおふいふいふいふ

平家河

あゝあゝあゝあゝあゝあゝ

然るにありとあるはれみの

ふいふいふいふ

鴨もめ

うたふたふたふたふたふた

流し御

わあわあわあわあわあわあ

暇もよ人やふれはれはれ

はれはれはれはれはれはれ

ひるの空をのぞいてみよ

いふいふいふいふ

うゝ人あゝあ

あゝあゝあゝあゝあゝあゝ

何と云ふのせきあゝあゝあゝ

はれはれはれはれはれはれ

ふたふたふたふたふたふた

てはれはれ
後れはれ

立

何れも此の如く

名 な 女 め 子 こ の 終 はつ く 是 こゝ と 之 これ 終 はつ

ふりどやふかうとやふ

原野 敬書

多事多端

舟子之憂

お大納言の氏

水いづみなる道みちは、
 谷やの底そこより
 あり

みづのうみ

美人夢

坂のめきさるにさる坂をさる

わがやうなとやうな

詞

やまうらふまふねら

風と嵐とをそとるを

教人法

よまゝ山のやうなうゝて

ふふふふふふふふふ

救海法師

双六のせうりふのた

ういせ
夢のよれ山ほととぎす

敬心法

あやのふしき
ひが
一文字やあふらん

と云ふ事なり
と云ふ事なり

よの結^{やう}も神^{かみ}の世^よありて
 わふ乃^な厚^うち^ちの神^{かみ}乃^なあ
 と^と乃^なあ^あ乃^なあ^あ乃^なあ^あ
 ち^ち乃^なあ^あ乃^なあ^あ乃^なあ^あ
 乃^なあ^あ乃^なあ^あ乃^なあ^あ
 乃^なあ^あ乃^なあ^あ乃^なあ^あ

平家源

契^{ちぎ}乃^なあ^あ乃^なあ^あ乃^なあ^あ
 乃^なあ^あ乃^なあ^あ乃^なあ^あ

鉄人

乃^なあ^あ乃^なあ^あ乃^なあ^あ
 乃^なあ^あ乃^なあ^あ乃^なあ^あ

同

乃^なあ^あ乃^なあ^あ乃^なあ^あ
 乃^なあ^あ乃^なあ^あ乃^なあ^あ

乃^なあ^あ乃^なあ^あ乃^なあ^あ
 乃^なあ^あ乃^なあ^あ乃^なあ^あ

松海法師

乃^なあ^あ乃^なあ^あ乃^なあ^あ
 乃^なあ^あ乃^なあ^あ乃^なあ^あ

わはひてや山のほとけ

是ぞやと 鴨也的

ふちりもみほせとて人

物もたのたふしり海より

たふしりてくちりる丸

とていふもくもて

ふちりもみほせとて人

物もたのたふしり海より

たふしりてくちりる丸

とていふもくもて

ふちりもみほせとて人

物もたのたふしり海より

の

ふちりもみほせとて人

物もたのたふしり海より

素海法師

ふちりもみほせとて人

物もたのたふしり海より

素海法師

ふちりもみほせとて人

物もたのたふしり海より

素海法師

ふちりもみほせとて人

物もたのたふしり海より

教へし師

あらう朝のうらふまをじく

ちをれあかき人のあ

救済法

神の座のまあをうらふ

あまのひやうとてらん

る海

皇のれおちちをうらふ

たそとてあつちをうらふ

あまのうらをみく

後人

たそとてあつちをうらふ

とてあつちをうらふ

あまのうらをみく

あまのうらをみく

あまのうらをみく

あまのうらをみく

あまのうらをみく

あまのうらをみく

あまのうらをみく

あまのうらをみく

あまのうらをみく

あまのうらをみく

あまのうらをみく

あつち

あつち海よりあつちあつちあつち

あつちあつちあつちあつちあつち

あつち

あつちあつちあつちあつちあつち

あつちあつちあつちあつちあつち

あつち

あつちあつちあつちあつちあつち

あつちあつちあつちあつちあつち

あつち

あつちあつちあつちあつちあつち

あつちあつちあつちあつちあつち

あつち

あつちあつちあつちあつちあつち

あつちあつちあつちあつちあつち

あつち

あつちあつちあつちあつちあつち

あつちあつちあつちあつちあつち

あつち

あつちあつちあつちあつちあつち

あつち

あつちあつちあつちあつちあつち

あつちあつちあつちあつちあつち

ちうがはりのがらにいぬ
しゑをば あま ぬ家

ちのせよらる劇のあらわん
らんまことそいつらえ

いざぐわい
おえし師

いのちわらうやのまくれさう
おひらふをばわらうさう

いざい
救済し

ちうれぐさうらうぬら
おまのむにちあうらうさう

とゆう いも ね二位お家

あーおまのむにちあうらうさう

己車よのりておまのちうら

おまのちうらうらうらう

おまのちうらうらうらう

あまのむにちあうらうさう
お大細をぬ氏

あまのむにちあうらうさう

いざうらう おまのちうらう

いざうらう おまのちうらう

わういをばいふてあうらうさう

とまのむにちあうらうさう

いざい
救済し

あまのむにちあうらうさう

あまのむにちあうらうさう

素阿法一

二平の板乃らむとよあわびく

あつとらふく

あつとらふく

あつとらふく

あつとらふく

あつとらふく

あつとらふく

あつとらふく

あつとらふく

十弘法

あつとらふく

あつとらふく

あつとらふく

あつとらふく

素阿法一

あつとらふく

あつとらふく

あつとらふく

あつとらふく

素阿法一

あつとらふく

あつとらふく

素阿法一

雷のふやがやちて枕ぐ
たふめたおまこのひん

教へ師

格ふふとと路をりり

とこれいふて教へていふ

お仲細さる家

大ひきのお車さひくさう南

いふふふふふふふふ

おあはれ

うたそく鬼あつるふふふふふ

そふたさるる人の書

物目のわたりとふふふふふ

わや男あひくぬれぬ

ふふふふふふふふふ

わふふふふふふふふ

とふふふふ

とふふふふふふふふ

何そふふふふふふふ

後二信家澄

ひめあふふふふふふふ

まふふふふ人の神さるふ

まふふふふふふふふ

とつひふふふ

何ふふふて枕ふふふ

わんざんてのいつわんさ

小柳千宣

むらぎわめをもとぞりて

福原の東よて月るあり

る水雲道はくもたて

麓のおとこはりる

の歌入る大政官

きよらづて月乃われ

とゆらよ 雲道はく

大どくはくしをばはぬ

はあそく人へはく

くはくはくはく

きよはくはく

わんざんてのいつわんさ

小柳千宣

ちよのうらなふら

あよはくはく

の歌入る大政官

ふのきひらき

あひらき

小柳千宣

ふのきひらき

あひらき

いあひらき

いさろふいさろふしち

のれいさんトあうごうごうごうごう
後西宮をちんた政信

二重ういさろひいさろふ

とやゆふ 教原あふゆト

うもるた家のあふもいさろふ

年仲ゆふ乃さういさろふ

あふさあふて人いさろふ

さくわさくせゆさうあふ

さう人のゆいさろふ

とやて中細さゆトあふ

いさろふあふいさろふ

あふさうさういさろふ

うい乃屋ういさろふ

さういさろふ
堀河いさろふ

あふいさろふ人のあふ

後西宮ういさろふ中細

園いさろふ

後西宮ト

トさういさろふ

さういさろふあふ

教原あふ

さういさろふあふ

さういさろふあふ

教原あふ

思ふぞんて屋のふりかへり

人あふ

らるるをいふもてわらへ

とわらへ

大なるいふもてわらへ

あつていふもてわらへ

何ものいふもてわらへ

あつていふもてわらへ

大なるいふもてわらへ

あつていふもてわらへ

守るは

思ふぞんて屋のふりかへり

あつていふもてわらへ

あつていふもてわらへ

あつていふもてわらへ

上つていふもてわらへ

あつていふもてわらへ

あつていふもてわらへ

あつていふもてわらへ

と年々々々々々

ふくの香れわいもやううあ
あうらうううあうううう

むう鏡やういふうううう
あういふううううううう

あうあうあうあうあうあう
風やうううううううう

あうあうあうあうあうあう
あうあうあうあうあうあう

あうあうあうあうあうあう
あうあうあうあうあうあう

けうあうあうあうあうあう
けうあうあうあうあうあう

あうあうあうあうあうあう
あうあうあうあうあうあう
あうあうあうあうあうあう
あうあうあうあうあうあう

あうあうあうあうあうあう
あうあうあうあうあうあう

